

学生懸賞論文 令和7年度 受賞者のことば



最優秀論文賞



4年 中村匡克ゼミナール
物井 悠晏

コンパクトシティ政策の
CO2削減効果と影響度

—全国1735市区町村データを用いた実証分析—

研究過程における思考（試行）回数全てが、私にとって新鮮で刺激的でした。特に研究に採用するデータ選定、規模に依存しない変数設計、整合性を担保した文章構成に苦労しました。此度の受賞、誠に幸甚に存じます。

優秀論文賞



4年 若林隆久ゼミナール
松川 瑠那

地方芸術組織における
行政支援と芸術的自立

—群馬交響楽団と
Noism Company Niigataの比較から—

以前から関心のあった行政と芸術組織の関係をテーマに、現場の方々の協力を得て執筆できたことが何よりの財産です。卒業後も、地域政策に携わる1人として、地方における文化と社会のあり方について探究していきたいです。

優秀論文賞



4年 鈴木耕太郎ゼミナール

多賀谷 菜々美

現代日本におけるペットの役割と
新たなペットに対する向き合い方

— A I搭載ペット型ロボットの課題と可能性—

現代日本におけるAI搭載ペット型ロボットの普及課題と今後のペットのあり方について考察しました。身近な存在であるペットの未来を考える良い機会となりました。この度は受賞の機会を頂き、心より光栄に思います。

奨励論文賞



4年 若林隆久ゼミナール

鈴木 恭子

イノベーション教育に参加する
大学生の動機と継続・辞退理由—

— 一次選考書類のテキストマイニング分析と
インタビュー調査から—

研究を進める段階で、面白い事実に出会い、関係者の想いに触れ、考えることでたくさんの学びを得ました。

本研究に協力してくださったi.school関係者の皆様、指導教員である若林先生に心から感謝申し上げます。

奨励論文賞



4年 若林隆久ゼミナール

本田 賢世

大学生の地元志向を規定する心理的要因

— キャリア選択における安定志向との
関連に着目して—

大学時代の学びや、人・地域との関わりを通じて得た興味関心をもとに執筆しました。賞を頂けたことを大変光栄に思います。ご指導ならびに調査にご協力いただいたみなさまに深く感謝申し上げます。

奨励論文賞



4年 原 史子ゼミナール

須合 紅葉

こどもの居場所としての
こども食堂の現状と課題

— 小学校区単位で見るとも食堂分布と
自治体の取組調査から—

3年次のグループ研究の延長から、副題の調査を行いました。自治体比較ではできるだけ類似する地域を選ぶ必要があったため、調査地域を見つけた時は一番心が躍りました。今回受賞できたこと大変嬉しく思います。

奨励論文賞



3年 安田 慎ゼミナール

今泉 拓也

中小規模の同人即売会における
サークル参加者のインセンティブ分析

—東方上州祭・第10幕における
聞き取り調査をもとに—

自身の趣味である同人即売会について、参加するうえで生まれた疑問を研究しました。趣味の場だからこそ持っている個人の思いを調査で聞くことができ、新たな発見や関わりも生まれたかけがえのない時間となりました。

奨励論文賞



4年 佐藤英人ゼミナール

平原 爽椰

臨海副都心における
訪問客と災害の危険性

—「お台場」を事例に—

現地調査や聞き取り調査を通して、お台場における観光客の避難課題を明らかにしました。本研究を進める中で、調査や分析の方法を学ぶことができました。ご協力いただいた企業の皆さまには深く感謝しています。

奨励論文賞



4年 原史子ゼミナール

南 和颯

児童相談所職員のメンタルヘルスを守る
仕組みは整っているのか

—研修の観点から—

児童相談所職員の心理的負担に疑問を持ち、研修や支援体制について研究しました。実態を知るほど課題の複雑さに戸惑いましたが、制度や職場の仕組みを学ぶ貴重な経験となりました。受賞できて光栄です。

奨励論文賞



4年 若林隆久ゼミナール

渡邊 颯太

長期的な個人目標を再設計する際の
動向と達成について

—目標設定理論に基づいて—

私自身の挫折から目標を再設計した経験を活かし研究を行いました。納得のいく調査をしきれず悔しさも残りますが、今回賞をいただくことができ、大変光栄に思います。この経験を今後のキャリアに役立てていきます。

高崎経済大学地域政策学会 令和8年度 学生懸賞論文募集要項 (予定)

1. 趣 旨

高崎経済大学地域政策学会は、地域政策学部の教員、学生、卒業生等から構成され、会員による学術研究の成果を発表し、社会に貢献することを目的に活動しております。このたび、地域政策学部に所属する学部学生の研究活動を推進し、かつ獨創性あふれる優れた論文執筆能力の育成を奨励するため、学生懸賞論文を募集いたします。応募資格等は下記の通りです。学生の皆さんのご応募を心よりお待ちしております。

2. 応募資格

- ・高崎経済大学地域政策学部に所属する1～4年次の学生(研究生は除く)
- ・グループによる応募も可

3. テーマ

原則自由(各自およびグループの関心にもとづいて自由に設定して構いません)

4. 応募期間

2026年11月下旬予定

5. 応募方法

投稿規程および執筆要領をもとに論文を作成し、下記の必要書類とともに学会事務局(図書館1階研究支援チーム内)宛にメールで提出してください。E-mail:c-gakkai@tcue.ac.jp

<提出書類>

- ・論文本体(A4版で、カラーまたは白黒).....1部
- ・論文要旨(A4版400字以内・学会ホームページからダウンロード).....1部
- ・学生懸賞論文応募申請書(学会ホームページからダウンロード).....1部
- ・電子媒体(Wordファイルをメールにて)提出期日までに学会事務局宛に提出

6. 表彰および賞金

最優秀論文賞(1編):表彰状と賞金5万円

優秀論文賞(若干編):表彰状と賞金3万円

奨励論文賞(若干編):表彰状と賞金1万円

7. 論文の審査および審査基準

(論文の審査)

- ・応募論文は、本学会に設置する学生懸賞論文審査委員会において厳正に審査します。
- ・一定の水準に達する論文がない場合は、該当なしとなる場合があります。



受賞作品は、図書館に所蔵されます